



## タダ乗り正社員をクビにせよ!!

タダ乗り正社員を見過ごしていけば会社はじわじわと衰退する。  
タダ乗り正社員のことをフリーライダーとも言う。  
また、アウトローとか「ただ飯喰らい」とも呼ばれたりしている。

あるクライアント企業で工場長までやっていた人がいる。色々と問題を起こし、今は降格されて役職を解かれ、一時は辞表まで出して会社を辞める、辞めないと大騒ぎをしたけれど、結局は会社に居続けることになった。  
引き留めたのは社長だから誰も文句は言えない。

しかし、その元工場長は毎朝出勤をしてくるが、ぶらぶらしていたり、時にはいなくなったり、また、ずっとパソコンの前に座っていたりしているだけで、何の仕事をしているのかよく分からない。  
文句を言いたくても、元工場長だから遠慮があって誰も近寄らない。  
今ではみんな諦めているのか、慣れてしまって、誰も気にとめてもいない。

元工場長は40代後半のベテラン社員である。役職は解かれ、肩書は無くなったが「参与」ということで部長待遇の給料は出している。  
しかし、部下がいるわけではない。管理職として課題達成の目標や結果に対する責任を負っているわけではない。  
また、若手の指導や育成を行っているわけでもない。日常の現場作業に追われている訳でもない。

しかし、給料は「参与」ということで一人前以上にもらっている。  
現在のような厳しい時代にあっても、危機感がなく、今の境遇に安住した仕事のやり方で日々を過ごしている。この元工場長のようなタイプは典型的な企業フリーライダー（タダ乗り正社員）である。

フリーライダーとは、「集団において、その集団が生み出す成果の分け前は享受するが、成果を生み出していくための労を負わない者」をいう。簡単にいえば、会社という組織や、周りの頑張っている社員に「タダ乗り」をする社員のことである。  
組織に寄生している正社員のことであり、どこの会社にもこのような人間は一人や二人はいる。これを放置しておく、会社は内部から崩壊していく。